

図書館フェスティバル 多彩な催しに多くの人で賑わい

SCENE 1



迫力ある朗読と美しい音色



フォトコンテスト受賞者のみなさん



色鮮やかな民族衣装を披露する留学生



作品の前で笑顔を見せる北永健人くん
(11月10日撮影)

中 央図書館で11月27・28日、図書館フェスティバルが開催されました。今年は密を避けるため、11月の1か月間をフェスティバル月間として開催。最後の週末となった2日間は、二胡の生演奏で楽しむ朗読「スーホの白い馬」やサビエル高等学校の留学生による民族衣装ファッションショー、「絵本で笑顔！フォトコンテスト」の表彰式など多彩なイベントが開催され、家族連れなど多くの人を訪れました。また同館では、フェスティバル月間に合わせて、先天性の心臓病を患う北永くん(本山小学校3年生)が、全国のゆるキャラを折り紙で表現した作品「日本全国ご当地キャラクター～コロナにまけるな～」も展示されました。

SCENE 2 共生社会の実現に向けて パラ聖火リレー採火式記念作品披露

東 京2020パラリンピック聖火リレーの本市採火式の記念として、本市在住のガラス作家である西川さんに制作していただいたガラス作品「時の記憶-共生-」が11月19日、市役所で披露されました。作品は、厚狭地区複合施設で展示後、市内各所で巡回展示されます。



左から西川慎さん、藤田剛二市長



SCENE 3 冬の夜を鮮やかに彩る JR厚狭駅前イルミネーション

平 成22年の豪雨災害からの復興を願って始まったイルミネーションプロジェクトは今年で10回目。11月27日の点灯式では、伊豫遠太郎さんと葉月さんが在来線口前の会場で挙式後、点灯スイッチを押しました。今年は新幹線口側にも電飾が飾られ、来年2月14日まで楽しむことができます。